

**WEEKLY SIGNAL**

平成31年2月22日(金) 1463号  
上田八木短資株式会社

**来週の市場とレート予想**

	2/25(月)	2/26(火)	2/27(水)	2/28(木)	3/1(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券	△ 200	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000
財政他	+ 900	+ 1,000	+ 3,000	+ 7,300	△ 21,000
資金需給	+ 700	ト ン	+ 2,000	+ 6,300	△ 22,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)			交付税特会借入・償還	国債発行(2年)
オペ期日	共通担保(全店) △ 3,300 CP等買入 △ 300				
オペスタート	共通担保(全店) + 4,900 国債買入 + 7,200 社債等買入 + 500 ETF買入 + 100				
(日本)	経団連 中西会長会見(都内) 企業向けサービス価格指数(1月)		片岡日銀審議委員香川県 金融経済懇親会であいさつ	鈴木日銀審議委員茨城県 金融経済懇親会であいさつ 鉱工業生産指数(1月)	完全失業率(1月) 有効求人倍率(1月) 消費者物価指数(都区部、2月)
(海外)	英 中銀総裁ら記者会見	米 FRB議長、上院銀行委員会で 半期に1度の議会証言 米 消費者信頼感指数(2月) 英 中銀総裁ら議会委員会で証言	米朝首脳会談(ベトナム、28日まで) 米 FRB議長、下院金融委員会で 半期に1度の議会証言 ユーロ圏 マネーサプライ(1月) ユーロ圏 消費者信頼感指数 (2月、改定値)	米 FRBクワダ副議長、講演 米 アトランタ連銀総裁、講演 米 ファイデルファイ連銀総裁、講演 米 グラス連銀総裁、講演 米 セントルイス連銀総裁、講演 米 GDP(4Q、速報値) 米 新規失業保険申請件数(23日終了週)	米 ISM製造業景況指数(2月) 米 シガン大学消費者マインド指数 (2月、改定値) ユーロ圏 製造業PMI(2月) ユーロ圏 失業率(1月) ユーロ圏 CPI(2月、速報値)

**[インターバンク市場]**

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.050
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.060
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

**<インターバンク>**

日銀当座預金残高は、週初384兆1,400億円から始まった。その後は国債・国庫短期証券の発行を主因に減少し、383兆5,000億円を越えた。無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.063%から始まった。週末にかけて地銀業態を中心に調達ニーズが徐々に強くなり、週末22日に同金利は△0.058%まで上昇した。また、+0.001%で試取を行う先も複数行見られた。ターム物は1W~2W物を中心に、主に△0.040%~△0.025%の水準で出が見られた。米連邦準備理事会(FRB)は20日公表した1月の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨で、2017年秋から続く保有資産の縮小を2019年中に終了する方針を明らかにした。当初想定よりも終了時期が2年ほど早まる見込みとなった。来週の主な予定は、国内では日銀の片岡審議委員が香川県金融経済懇親会(27日)、鈴木審議委員が茨城県金融経済懇親会(28日)でそれぞれ挨拶を行う他、鉱工業生産の公表(28日)などがあり、海外では米パウエルFRB議長による上院銀行委員会で半期に1度の議会証言(28日)や、米GDP(4Q、速報値)の公表(28日)などがある。

**[オープン市場]**

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.23 ~ △0.18
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

**<C P>**

今週の入札発行総額は約9,600億円で、週間償還額(約4,000億円)に対し発行超となった。発行市場は、5・10日発行と大型案件が散見されたことから、活況なマーケットであった。市場残高は、20兆9,000億円台で推移した。発行レートは、投資家の強い運用ニーズは変わらず0%のレンジとなった。来週の償還総額(2/25~3/1)は、月末償還(約1兆5,000億円)を含め2兆3,000億円程度となっている。発行市場は、月末の大量償還に対して償還超が予想されるものの、事業法人の資金需要は強く活況が予想される。発行レートは、期内物では0%近辺での出会い、期越物では0%からマイナスレートでの出会いとなろう。25日に、CP等買入オペが2,000億円程度オフアされる予定となっている。

**<TDB>**

19日入札の1Y815回債は最高落札レート△0.1886%(前回債△0.1741%)、平均落札レート△0.1906%(同△0.1781%)と、前回債から利回りがやや低下。22日入札の3M816回債は最高落札レート△0.2065%(前回債△0.1954%)、平均落札レート△0.2207%(同△0.2106%)も前回債から小幅マイナス幅を拡大した。セカンダリー市場は積極的な買いは見られず、新発3Mの出合水準は△0.21%程度と上値が重かった。来週は3月1日に3Mの入札が予定されている。

**<レポ>**

銘柄先決めGC取引は週初△0.12%近辺から始まり、週央にかけて△0.105%~△0.115%で推移。短国3Mの発行日となる25日受渡しは、前場△0.09%近辺から出合いが付き始め、後場△0.06%~△0.07%まで上昇した。SC取引では10年351回債のbidが多く、△0.10%台半ばが出合いの中心。カレント銘柄の10年353回債、5年138回債は共に△0.10%台前半で多く取引された。その他2年396・397回債、5年136・137回債、10年340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・352回債、20年163・164・165・166・167回債、30年59・60・61回債、40年10・11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。